

鶴岡のお米お届け致します

(株)アシスト
2021.6月号



田植作業の始まりです。今年は作業効率化を図り、新車で購入したGPS付田植機での作業は5/8～23無事終了致しました。従来機では運転手と苗足し役と2人乗車を今回の新車は自動運転機能搭載なので運転手1人でも作業が出来る!!まさに作業効率と人員削減が実現いたしました。

クボタ 田植機 NW8S GPS付新車納車!!



新車で購入したGPS付田植機。田植え試運転にはクボタ従業員からの指導で順調に進みました。写真だと止まって見えますが、自動運転中(前進中)に後部の苗載台に運転手が苗を補給しています。↓↓ 5/8撮影



クボタ従業員と社長とで運転確認し
これからの田植えに十分な期待が
込められていました。

(株)アシストのスマート農業続々導入実施中!!

スマート農業とは…ロボット、AI、IOTなど先端技術を活用する農業のこと(農林水産省HPより抜粋)



直線キープ等の機能搭載の自動
運転田植機で田植え実施



水田の水管理をスマホで遠隔・自
動制御化で圃場水管理実施



ケーサス(KSAS)アプリ(クボタスマートアグリシステム)導入で圃場・農機の管理実施。パソコンやスマホで圃場管理、農機情報管理、作業状況等を把握。位置情報で従業員が何の機械でどういう作業をしているか、その進捗度や、機械情報もアプリで管理され運行作業時間からメンテナンスの必要状況も確認出来ます。突然の機械の困った!!の整備や点検にも柔軟に対応してくれ、他農業者からこれいいね!!と言われるアシスト従業員「機械整備部長」の職人技も見逃せません!!

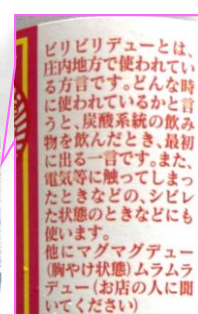


田植作業も終了した2週間ぶりの休日に足をすすめた酒田米菓・オランダせんべいファクトリー。庄内にいながら初めて入店。中には、せんべいを焼く体験や工場見学もあり、楽しめる所でした。売店には、お土産に迷う位の米菓「オランダせんべい」のバリエーションが多くまた、売場に置かれていた庄内弁をまじえた?!名前のサイダー「ビリビリデュー(炭酸を口に入れた時に感じる言葉の方言(ビリビリします))」の名前に惹かれ購入してきました。他の方言で「まぐまぐでゅう(あまりの忙しさに思考が混乱してしまう時などに使う方言(思考が混乱してしています))」もあり、未だ使用中です。近くの山居倉庫の欒並木は鮮やかな新緑で初夏を感じてきました。

5/24撮影



定番のオランダせんべい



ラベルにも方言の言われが書いてありました

鶴岡のお米

お召しあがり下さいませ

農作業の様子や庄内、鶴岡を
独自のコメントで毎月発行する
チラシで届けしています

生産者 株式会社 アシスト

農作業の様子をご紹介します その3

(株)アシスト
2021.6月

圃場編…作業工程⑤ 入水

粗耕起後の圃場に水を入れます。田植えの進み具合をみて順を追って入水します。



圃場編…作業工程⑥ 代掻き

田植えを行うまでの圃場の整備は代掻きが最後の工程となります。苗の植付け、良好な生育を保つ為、超低速運転で丁寧に土を細かくし柔らかい状態に整えます。



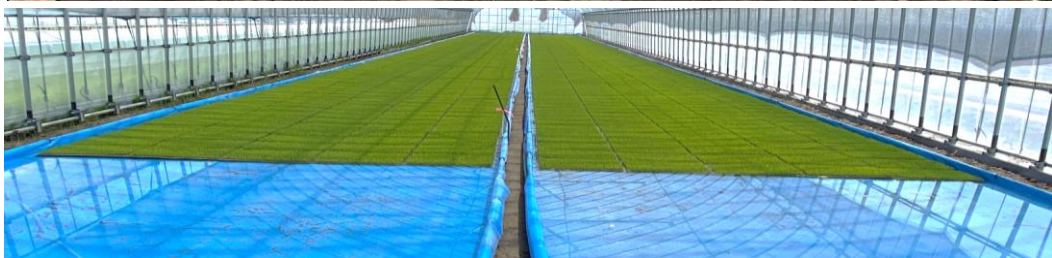
圃場編…作業工程⑦ 田植え

播種してから25日目、新車での田植えです。GPS機能搭載で植付け、株間、施肥料、直進、条間すべて「アシスト」し、高精度作業・低コストで作業効率を図ります。



ハウス編…作業工程③ 室内管理

播種作業時に苗を並べて頂いた作業。初挑戦で行った育苗プール。ブルーシートに水を張りハウス内の室温・水温を調節し育苗します。苗がハウスにある限り田植を行う直前まで室内管理は欠かせません。



種子編…作業工程⑦ 育苗

室温管理されたハウス内では苗の変色等見られず丈夫な苗に生育していました。今年も皆様より美味しい声が聞ける様に心がけていきたいと思ひます。



少しずつ作業状況をお伝えして参ります。どうぞ時間の許す限り御拝読いただけたら幸いです。